



土について考える公開シンポジウム

「私たちの日々ー土に囲まれて」

日時:平成22年11月22日(月)13時~17時

場所:日本学術会議6階6-C(1,2)会議室

(東京メトロ千代田線「乃木坂」駅5番出口)

主催:日本学術会議農学委員会土壌科学分科会

共催:日本土壌肥料学会、日本ペドロジー学会、日本土壌微生物学会、
日本作物学会

開催趣旨:地球の皮膚とも言われる土壌はあまりにも身近な存在ゆえに、その恩恵の大きさに気付かない。地球環境の悪化、食糧不足、食の安全安心が問題となり、人類の持続的存在すら危惧される昨今、この地球環境や人間活動を支える土壌の存在と役割を、一般市民の方々、これから自然科学を目指す学生、研究者と共に、改めて考えてみたい。

プログラム:座長 三枝正彦(日本学術会議連携会員・豊橋技術科学大学特任教授)
大杉 立(日本学術会議連携会員・東京大学・大学院教授)

13:00:開会:シンポジウムの趣旨について:三枝正彦

13:10:食糧(いのち)を支える土:後藤逸男(日本学術会議特任連携会員・東京農業大学教授)

13:45:暮らしの中の土:宮崎 毅(日本学術会議連携会員・東京大学・大学院教授)

14:20:土と健康;コメや野菜が骨をつくりボケを防ぐ:渡辺和彦(東京農業大学客員教授)(ビデオ講演)

15:05:土と文化・文明:陽 捷行(日本学術会議連携会員・北里大学副学長)

15:40:土の微生物に囲まれた日々:木村真人(日本学術会議連携会員・名古屋大学・大学院教授)

16:15:総合討論:座長 森 敏(日本学術会議連携会員・東京大学名誉教授)

17:00:閉会:木村真人

問い合わせ先:国立大学法人・豊橋技術科学大、三枝正彦

Tel & Fax : 0532-44-1016 e-mail:saigusa@recab.tut.ac.jp

